

別紙5 (ソフトウェア) ICT機器構成明細

1 環境復元ソフト

下記の製品又は同等品以上であること。

富士通：瞬快 nami (並) Ver.13

【同等品条件】

- (1) PCを再起動することにより、あらかじめ設定した環境に戻すこと(環境復元)ができること。
- (2) 環境復元を行っても、ウイルス対策ソフトのパターンファイル等については、最新の状態を維持できること。
- (3) ドライブ単位、ファイル単位、フォルダ単位に復元対象を設定できること。
- (4) 複数のPCに対して、リモート制御による一斉操作(電源ON/OFF、再起動、メッセージ送信、特定PCの画面転送等)を実施できること。
- (5) リモートコンピュータ上の画面から複数PCの画面を一覧表示し、各利用状況をリアルタイムに確認できること。

【必要ライセンス数】

別紙1「1 教師用PC」及び「2 生徒用PC」全台に必要な数量。

2 CALLソフト

下記の製品又は同等品以上であること。

Chieru：CalaboLX 最新バージョン

【同等品条件】

- (1) 授業支援機能
 - ア 先生画面：教師用PCの画面を生徒用PCに送出できること。教師用PC画面はフルスクリーンとウィンドウサイズで表示できること。
 - イ 動画配信：DVDやビデオの映像またはMPEGなどの動画ファイルを一斉配信できること。フルスクリーン表示/ウィンドウサイズ表示を教師用PC側から指定できること。
 - ウ 画面受信/サムネイル表示：生徒用PCの画面をモニタできること。複数生徒を一度にモニタし、一覧表示もできます。
 - エ リモート操作：生徒用PCをリモートで操作できること。
 - オ 発表：任意の生徒用PCの画面をすべての生徒用PCに提示できること。
 - カ 電子指示棒：教師用画面送出時、発表時、PC画面にマーキングできること。
 - キ グループワーク：先生が指定したグループまたは生徒が自主的に組んだグループで画面共有ができること。グループ内でファイルの受け渡しが可能であること。
 - ク ファイル配布/回収：教材ファイルを配布し、生徒ごとに区別して回収できること。回収後に添削し、添削結果を返すこともできること。
 - ケ ファイル提出：生徒が課題ファイルを先生に提出できること。
 - コ チャット：クラス全員またはグループ間でチャットボードによるチャットができること。
 - サ アナライザー：制限時間を設定した選択式問題を配布し、回答状況をリアルタイムに集計できること。正解/不正解の生徒名もその場で確認でき、結果をCSVファイルとして保存できること。
 - シ 小テスト：選択/正誤/入力問題を組み合わせたテスト用紙を配布し、確認テストを実施できます。結果は自動採点し、生徒にフィードバックできること。生徒別/問題別の正解率や解答の明細をCSVファイルに保存できること。
 - ス 評価シート：相互評価用の評価シートを配布し、プレゼンテーション等を評価します。結果はその場で集計し、結果をCSVファイルに保存できること。
 - セ 先生呼び出し：質問があるときなど、生徒の操作で先生を呼び出せること。
 - ソ コールレスポンス：生徒からの呼び出しに対し、リモート操作やチャットで応答できること。
 - タ 自動抽選：現在出席している生徒または選択した生徒の中で1人だけ選んで名前を表示できること。
- (2) PC管理機能
 - ア 操作ロック/ブラックアウト：生徒用PCのキーボード/マウス操作をロックできます。また、モニタを非表示にできること。
 - イ 座席アイコン表示：座席アイコン上に生徒用PCのデスクトップ画面を表示できること。
 - ウ 電源管理：生徒用PCの電源を一斉にON/OFF/再起動/ログオン/ログオフできること。
 - エ リモート起動：生徒用PCのアプリケーションを教師用PC側から起動できること。
 - オ アプリケーション監視：生徒用PCで現在実行中のアプリケーションを座席アイコンに表示できること。
 - カ URL一斉表示：既定のブラウザを起動し、先生が指定したWebサイトを一斉に表示できること。
 - キ 実行不許可：生徒用PCのアプリケーション起動やブラウザの利用を一時的に禁止できること。
 - ク Web制限/プログラム制限：生徒用PCでWebサイトの閲覧や指定したプログラムの利用を一時的に禁止できること。
 - ケ 授業外インターネット制御：教師用PCが起動していない状態でも、生徒用PCのWebアクセスを制限できること。
スケジュール(曜日や特定の日付)の設定ができ、スケジュールによる制限が適用されている場合でも教師用PCで簡単に制限解除ができること。
- (3) 出席管理機能
 - ア AD連携：Windowsログオン時に認証されたユーザーから生徒の名前を自動で表示できること。また学籍番号を取得して出席情報やファイル回収・提出時のファイル名に反映できること。
 - イ クラス設定：クラスごとに、座席配置や座席表、グループを設定できること。
 - ウ 出席票：授業開始時に出席票を表示し、出欠をとれること。遅刻者も自ら出席できること。
 - エ 出席結果保存：生徒の出席状況をCSVファイルで保存できること。
- (4) 設定機能
 - ア 座席レイアウト：教室の座席配置に合わせて自由にレイアウトできること。
 - イ グループ作成：生徒のアイコンを選択し、アイコンにドラッグ&ドロップするだけで自由にグループを作成できること。授業中、自由にグループを変更できること。
 - ウ コントローラ表記：教師用PCのコントロール画面表記は日本語/英語/中国語を切り替えられること。
 - エ デュアルモニタ対応：教師用PCをデュアルモニタにして常にコントロール画面を表示させ、先生画面/コントロール画面を1つのマウス/キーボードで操作できること。
 - オ 複数レイアウト：授業毎に複数のレイアウトが登録できること。
 - カ 複数NIC対応：複数NIC環境に対応していること。
- (5) 以下の動作環境をサポートすること。
 - ア OS
 - (7) Windows 10 Enterprise LTSC 2019

別紙5 (ソフトウェア) ICT機器構成明細

- イ ブラウザ
- (7) Microsoft Edge
- (1) Google Chrome

【必要ライセンス数】

教員：1台、生徒：42台

3 音声編集&読み上げソフト

下記の製品又は同等品以上であること。

HOYA:GlobalvoiceEnglish3

【同等品条件】

- (1) ネイティブ・スピーカーに近い流暢かつ明瞭な音質で読み上げが可能であること。
- (2) PCで入力した英文を瞬時に再生、データ保存可能。
- (3) 学習者のスキルにあわせた読み上げスピードも簡単に設定が可能。
- (4) 表示モード：「文書モード」「対話モード」「WEBモード」が可能であること。
- (5) 教員用には、音声データを保存できる機能を有すること。

【必要ライセンス数】

教員：1台、生徒：42台